

「運命は自分で変えられる」

令和6年度の後期がスタートしました。

短い秋休みの中で前期の自分を振り返り、後期の目標をもつことができたでしょうか。

「新年」「4月の新学年スタート」「新学期」など、一年の中にはいくつかの節目があります。その節目を、自分自身が新たな気持ちでスタートするきっかけにしてほしいと思います。

「目標なきところに成果なし 計画なきところに実行なし」と言われます。自分の目標をもち、その目標を達成するために何をするか計画を立てなければ、いつまでたっても行動に移すことはできず、成果を上げることはできません。また、

「心が変われば 行動が変わる」 「行動が変われば 習慣が変わる」

「習慣が変われば 人格が変わる」 「人格が変われば 運命が変わる」

とも言われます。

ぜひ、後期の始まりをきっかけに、自分なりの目標をもち(心を変え)、計画を立てて行動(行動が変わり習慣となる)してみましょう。習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば運命が変わるのです。

そうです。**運命は自分で変えられる**のです。

「後期の抱負」 後期始業式での各学年代表のスピーチより

1 学年代表 金子 碧姫

私は後期に臨むにあたり、前期にできなかったことや足りなかったところを見直していき、2年生に向けて悔いが残らないようにしていきたいです。そのために頑張りたいことが二つあります。

一つ目は、集中して授業を受けられるよう、時間の使い方を工夫することです。前期は移動教室や次の授業の準備、部活動の片付けなど、時間がぎりぎりになってしまうことが多く、余裕がもてませんでした。周りを見る余裕もなく、焦ってしまうことも多かったので、後期は行動を素早くすることを意識し、時間に余裕をもてるようにしていきたいです。そして、授業だけでなく予習や復習もできるよう、時間を有効活用していきたいと思います。

二つ目は、生活習慣を見直し睡眠時間を確保することです。私は中学生になり、新たな目標が増えました。そのため今まで通りに過ごしていると寝る時間が遅くなってしまい、早起きできないことが多くありました。ですから後期は、放課後と休日の勉強や習い事、休憩や睡眠などの日々の過ごし方を見直して早起きできるようにし、継続できるよう習慣化していきたいと思います。

これからも勉強や部活動、学校行事に全力で取り組み、元気に楽しく学校生活を送っていきたいです。

2 学年代表 秋山 英保

僕が後期に頑張りたいことは三つあります。

一つ目は勉強です。前期の定期テストは勉強の方法を工夫することができず、十分な学習を行うことができなかったため、満足のいく結果を出すことができませんでした。ですから後期は、来年の受

験を視野に入れ、自分が納得のいく結果を出せるよう自分に最適な勉強方法を見つけられるようにしていきたいです。

二つ目は部活動です。新チームになってから副部長になり、チーム全体を気にしながらチームメイトを鼓舞したり、練習の雰囲気が悪くなった時に空気を引き締められるような声かけをしたりして、目標の県ベスト4を達成できるよう頑張りたいです。

三つ目は委員会活動や係活動です。後期には「恋バナ」が絶えないであろう自然教室や、みんなで3年生に感謝を伝える卒送会など様々な行事があるので、できるだけ多くの実行委員になり、行事にみんなが真剣に楽しく取り組めるようにしたいと思っています。

また、後期は初めて学級議長になったため、緊張していますがとても楽しみです。学級議長としてメリハリがしっかりしていて常に楽しいクラスにできるように頑張りたいです。

3年代表 板倉 陽向

僕が後期になって頑張りたいことは二つあります。

一つ目は勉強です。僕は一、二年生の時はあまり勉強へのやる気が出ず、定期テストなどで自分が満足する点数が取れませんでした。その結果、いい成績を残すことができず、今では後悔しています。3年生になって受験への意識が高くなり、今では勉強をたくさんするようになりました。その結果、前期中間テストや期末テストでは自分の納得のいく点数を取ることができ、少しずつですが以前の自分より力がついてきていると実感するようになりました。この勉強に対する意識をなくさずに後期にある定期テスト、そして入試で自分の納得のいく結果が出せるように引き続き頑張っていきたいです。

二つ目は生活面についてです。受験期は体調管理や集中力の維持が大切になってきます。今の僕は夜遅くまで起きて睡眠時間が少なく、授業中に眠くなってしまうことがあり、集中できていません。これからは十分な睡眠をとり、集中力を今以上に向上させていきたいです。体調管理では、勉強の合間に適度な休憩を取り、無理をせず風邪などで体調を崩さないように心がけていきたいです。

この二つを後期に頑張り、受験でよい結果が出せるようにしたいです。

(千葉市教育委員会からのお知らせ)

<中学校部活動における休日の地域移行について>

少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、中学校の部活動について、休日を「学校部活動」としてではなく、「学校と連携した地域クラブ活動」に移行する取組を行っています。平日は引き続き部活動としての活動は残りますが、休日の活動環境が変わることとなります。スポーツ・文化芸術に触れあう場を今後も確保していくために必要な取組となりますので、ご理解よろしくをお願いします。詳細は千葉市HPをご参照ください。

